

富士電波工業株式会社



取材学生：野田能修(理工学部 機械システム工学科 1回生)



今回は富士電波工業株式会社に工場見学とインタビューをさせて頂いた。富士電波工業株式会社は本社を大阪、工場を滋賀に構え、その他にも東京、名古屋、筑波に営業所がある。事業内容は様々な材料を加工するためやその他の目的のための2000℃を超える温度や真空といった特殊な環境を生み出すための装置の製造を主に行っている。今回は工場見学を滋賀工場にて、インタビューはサーモシステム事業部設計部機械設計課技術係長の阿部拓さんにさせて頂いた。

(2018年11月16日取材)

様々な要望に応えるお手伝いの心

まず、最初に皆さんは中小企業はどのような企業だと考えていますか。「大企業の下請け」や「大企業より様々な面で劣っている」と考える方は少なからずいるでしょう。しかし、それは中小企業が何をやっている会社か(事業内容)を普段の私たちからではなかなか知ることが出来ず、大企業の方が知名度があり何をやっている会社がある程度知られている事が一つの要因である。よって、今回は中小企業がどのような企業かを富士電波工業株式会社の強みを踏まえながら書いていきます。

中小企業と大企業の大きな違いは従業員の数である。中小企業は大企業に比べて少ない。この事はデメリットのように見えるかもしれないが、ここに中小企業ならではの強みが隠れている。

大企業というのは従業員の数が多いこともあり多種多様で多くの部署に分類されていて、企業全体で一つのプロジェクトをするとなると、そこに関わる人の規模もか

り大きい為個々のニーズに対応する事は困難である。しかし中小企業は従業員が少ないからこそ小回りが効くという強みを持っていて、その強みがもたらす様々な要望に応えるお手伝いの心こそが中小企業の最大の魅力であると感じた。

また、今回の工場見学とインタビューから富士電波工業株式会社は様々な要望にただ応えるだけでなく品質や扱いやすさにもこだわって様々な品物を作っている事も知ることが出来た。

このように今まで様々な要望に応えてきた富士電波工業株式会社は富士電波工業株式会社の技術面における強みと世の中が今必要としている物が融合した物の開発に取り組もうとしている。

最後にこのような強みを持つ富士電波工業株式会社をはじめとする中小企業はこれからの日本の産業において必要不可欠であると、私は今回の工場見学とインタビューから強く感じた。



<メッセージ>

大学生活では何事にも全力で取り組んでください。またやる前から諦めずに、まずはやってみる事も大切です。色々な事に挑戦してください。弊社と一緒に新しい事にチャレンジしませんか。

サーモシステム事業部
設計部機械設計課 技術係長
阿部拓さん

会社概要

■住所(本社)	〒532-0033大阪市淀川区新高2丁目4番36号 (滋賀工場 〒520-3213 滋賀県湖南市大池町8)	■設立年月	1948(昭和23)年9月
■企業HP	http://www.fujidempa.co.jp/	■代表者名	代表取締役社長 横島 俊夫
■資本金 ■従業員数	資本金：3億3650万円 従業員数：135名	■業種	製造業：工業加熱設備 (重電・産業用電気機器)